

「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく 利根川上流域の減災に係る取組方針

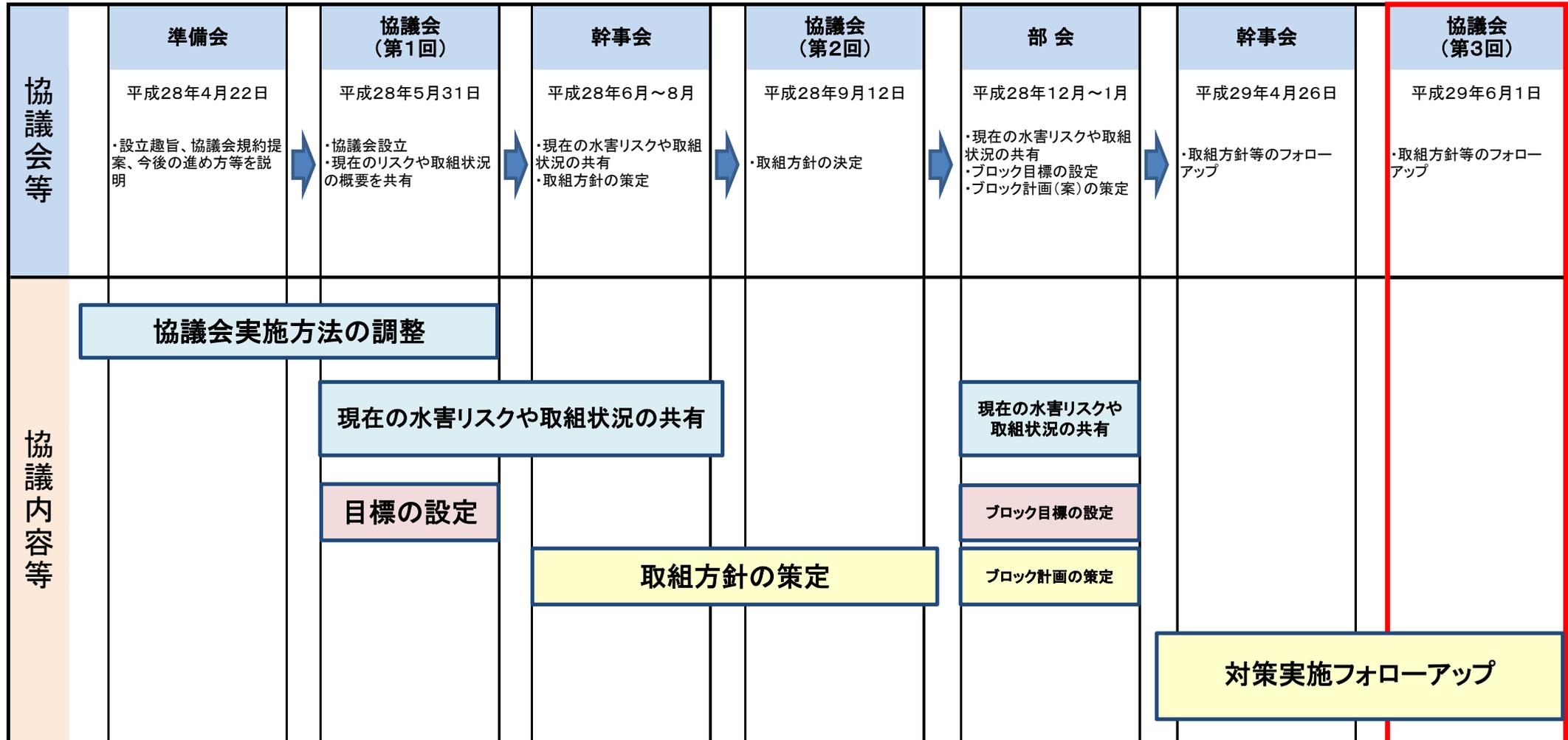
～これまでの経緯～

平成29年6月1日

利根川上流域大規模氾濫に関する減災対策協議会

利根川上流大規模氾濫に関する減災対策協議会及び部会の経緯

減災対策協議会及び部会の経緯



減災のための目標

◆5年間で達成すべき目標

利根川上流河川事務所管内の大規模水害に対し、「**逃げ遅れゼロ**」、「**社会経済被害の最小化**」を目指す

※大規模水害……想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水氾濫による被害

※逃げ遅れ……立ち退き避難が必要なエリアからの避難が遅れ孤立した状態

※社会経済被害の最小化…大規模水害による社会経済被害を軽減し、早期に再開できる状態

◆上記目標達成に向けた3本柱の取組み

利根川等における災害防止を目的として、河川管理者が実施する堤防整備等の洪水を河川内で安全に流すハード対策に加え、以下の取組を実施。

1. 逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な**避難行動のための取組**
2. 洪水氾濫における被害の軽減、避難時間の確保のための**水防活動の取組**
3. 一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための**排水活動の取組**

概ね5年で実施する取組

主な取組方針 ハード対策

①洪水を河川内で安全に流す対策

- ⇒堤防高や堤防断面、河道断面が不足している区間の整備促進
- ⇒堤防及び基礎地盤の浸透対策の整備促進

②危機管理型ハード対策

- ⇒堤防天端の保護、裏法尻の補強等、危機管理型堤防の整備

③避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- ⇒雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤整備
- ⇒簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置
- ⇒防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等
- ⇒河川防災ステーションや避難地盛土の整備
- ⇒水防活動を支援するための水防資機材等の配備
- ⇒庁舎、災害拠点病院や自家発電装置等の耐水化
- ⇒排水機場の耐水化等、水門等操作の水圧対策

主な取組方針 ソフト対策

①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組

- ⇒住民等の避難行動につながる分かりやすいリスク情報の周知
- ⇒避難計画、情報伝達方法等の改善
- ⇒企業防災等に関する事項
- ⇒広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等
- ⇒避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成
- ⇒防災教育や防災知識の普及

②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組

- ⇒より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化

③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動等の取組

- ⇒氾濫水の早期排水のための効果的な施設運用
- ⇒緊急排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施
- ⇒BCP(業務継続計画)に関する事項
- ⇒生活再建及び社会経済活動の回復のための民間力の活用

フォローアップについて

協議会は複数の氾濫ブロックをまとめた全体を対象とするが、氾濫ブロックごとの地域の実情に応じて適切に検討を行うため、協議会に部会を置き、協議会で作成した取組方針を踏まえたブロック計画を作成している。

各構成機関の取組については、必要に応じて、防災業務計画や地域防災計画、河川整備計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

原則、本協議会を毎年出水期前に開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組方針及びブロック計画を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じて習熟、改善を図る等、継続的なフォローアップを行うこととする。

なお、今後策定予定の想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図及び家屋倒壊等氾濫想定区域の内容によっては、取り組み方針の見直しを行うこととする。